

選 挙 公 示
2023 年 5 月 8 日

日本気象学会九州支部選挙管理委員会
選挙管理委員 西郷 雅典・蛇嶋 成一

第 42 期日本気象学会九州支部理事の補充選挙について

標記について、下記のとおり選挙を実施します。

今回は候補者数が今回補充する理事の数を超えていないため、信任投票とします。

記

1. 候補者氏名（届出順）

原田 智史	福岡管区気象台・気象防災部長
菅野 智之	鹿児島地方気象台・台長
松尾 比呂孝	一般社団法人日本気象予報士会西部支部・支部長

2. 理事の定数

3 名

3. 投票の方法

無記名の信任投票となります。
郵送された立候補者の所信を参考に、投票用紙に信任の場合○を、不信任の場合×を記入し、郵送ください。
○×以外が記入されている場合（無記入を含む）は、その候補者に対する投票は無効とします。

4. 投票締切日

2023 年 5 月 23 日（火）（必着）
※5 月 8 日に投票用紙および立候補者の所信等を発送しました。万一数日たっても投票用紙等が届かない場合は、九州支部選挙管理委員会までご連絡ください。

5. 投票用紙送付先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36
福岡管区気象台 気象防災部地域防災推進課内
日本気象学会九州支部 選挙管理委員会
電話：092-725-3614 e-mail: info@msj-kyushu.jp

第 42 期日本気象学会九州支部理事補充選挙候補者

ふりがな 氏名： はらだ さとし
原田 智史

職業： 福岡管区気象台・気象防災部長

所信： 九州地方では、2017 年から 6 年連続して、大雨特別警報が発表されるなど、近年、顕著な気象現象が頻発しています。とりわけ、こうした大雨をもたらす主要な顕著現象の一つである線状降水帯の予測精度の向上については、気象庁において重点的な課題として将来数年間をかけて取り組んでいるところです。こうした現象の予測技術の向上については、学術分野と行政の緊密な連携と情報交換が不可欠であると考えており、その上で気象学の発展を支えている日本気象学会の役割は非常に重要なものと考えております。気象学の発展に貢献すべく、そのための基礎的な観測資料等を共有していくとともに、そうして得られた研究成果の適切な社会実装を通じて、国民の生命や財産を守るという使命を果たすべく、微力ながら努めて参りたいと考えておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

ふりがな 氏名： かんの ともゆき
菅野 智之

職業： 鹿児島地方気象台・台長

所信： 近年、わが国では気象災害が頻発し、そして激甚化しています。社会からは線状降水帯の予測精度を向上させ、適切な防災対応を行うことで命を守る取組の推進が強く求められているところです。それら取組のベースとして、現象のメカニズム解明など学術研究の発展が不可欠であり、日本気象学会が果たす役割はますます重要になっています。気象台では学会の活動と連携しつつ、的確な気象防災情報の発表や地域防災力の向上、気象知識の普及・啓発に取り組んでいきたいと考えています。

ふりがな 氏名： まつお ひろたか
松尾 比呂孝

職業： 一般社団法人日本気象予報士会西部支部・支部長

所信： 1996 年に気象予報士を取得し、その後 14 年間民間気象会社で予報業務に携わってまいりました。現在は日本気象予報士会の会員として気象・防災の教育・普及に関わっています。近年毎年のように気象災害が発生する中、気象・防災教育の大切さと、その基礎となる気象学の重要性を改めて感じています。気象予報士として予報士会と本学会の結びつきを深め、微力ながら気象学の普及・発展ならびに学会および支部活動に貢献したいと思っております。